



# 小学校高学年向け 年組

## 亡き家族に思いはせ

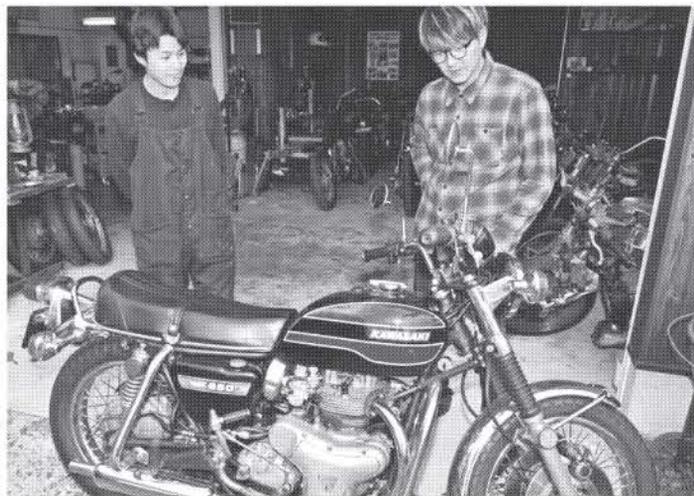
市を訪ねる人一。2021年から「メグロの聖地」化を仕掛ける「メグロ・キャノンボール那須烏山実行委員会」の委員長山田佳之さん(55)は「まちの景色が変わってきている」と手応えを感じている。(富井太啓)

### 那須烏山

【那須烏山】 往年のオートバイメーカー「目黒製作所(メグロ)」の工場がかつてあった市で、バイクを通じた物語が続々と生まれている。亡くなった家族との思い出に触れた人、若かりし頃を懐かしんで

メグロは1924(大正13)年、東京・目黒で創業。太平洋戦争中の44年、工場を旧烏山町に疎開させた。64年に当時の川崎航空機工業に吸収され、工場は閉鎖

# 「」が縁の物語次々



3月末に納車予定のオートバイを巡る物語を語る澤村さん(右)

された。それから約60年。山田さんから実行委は2021年から毎年、メグロバイクパレードなどの催しを開催。山あげ会館前にはメグロ看板が設置され、市を訪れるライダーが増えた。そうした中で山田さんは「不思議な縁も生まれてい

る」と語る。象徴的な出来事が直近にあったという。イベントの一環で1949年製メグロバイクをレストア(復元)した整備士澤村宜樹さん(42)の元にあった1台のオートバイ。新たなオーナーに引き渡すため、スクラップ寸前の状態から半年間かけて修復した。今は亡きかつての所有者を知っていた山田さんは、

## “聖地”にさまざまな変化

3月末の納車までに、その家族にエンジン音を聞かせられないかと思案。元所有者の葬儀で家族と面識はあったが、連絡先を知らなかった。経営する飲食店の常連客との会話をヒントに家族にたどり着き、2月初旬、実際にエンジン音を聞かせることができた。家族は父が帰ってくる時の音だった。まさかまた聞けるとは」と感慨深げに話した。

澤村さんのガレージには「父が乗っていたメグロを息子に譲りたいから直してほしい」「昔、メグロに乗っていて懐かしい。見てみたい」などの来訪者が定期的にいるという。澤村さんは「イベントではメグロの歴史を未来につなげているが、バイクを通じて現代の人同士もつなげている」と笑顔で話す。

山田さんは「僕たちが何も手を打たなかったら、この地に来ていなかった人もいるはず。不思議なことが重なり、共通の趣味を持った人たちの輪が広がってうれい」と目を下げた。

### 設問

【1】記事の中で使われている言葉について、あとの問いに答えましょう。

(1) この記事で「聖地」と呼ばれているのはどこですか。市町名で答えましょう。

(2) 「聖地」と同じ構成(上の漢字が下の漢字を修飾する)の熟語を次から一つ選び、記号で答えましょう。

ア:設置 イ:納車 ウ:未来 エ:笑顔

(3) 次の言葉の読み方を答えましょう。(意味が分からない言葉は辞書などで調べてみましょう)

①疎開②閉鎖③象徴④直近⑤思案⑥葬儀⑦感慨⑧来訪⑨譲る⑩懐かしい

【2】見出しの□に当てはまる言葉を記事の中から3文字で探して書きましょう。

【3】あなたは、この記事を読んで心に残ったところ

を友達に紹介することになりました。どのような言葉や内容が心に残りましたか。次の手順や例を参考に、あなたの考えをまとめましょう。

手順1:記事の中で「心に残った」と思う言葉や文章に、線を引きましょう。

手順2:その中から、特に紹介したい内容を選び、理由や自分の考えを書きましょう。

#### 【書き方の例】

・心に残った内容:「山田さんが、亡くなった持ち主のご家族のために努力するところ」

・理由や考え:エンジン音を聞かせたいという思いで、誰かのために一生懸命になれるところがすてきだと思ったから。ご家族はお父さんを思い出し、きっと幸せな気持ちになったと思う。私も山田さんのように、誰かのために行動できる人になりたい。

・紹介したい「心に残った」言葉や内容  
( )

・心に残った理由(あなたの考え)  
( )